



SDGs の市民政治に関する政治学研究および地域貢献

Keywords : 持続可能な社会 SDGs ESD 新しい政治 アクティブ・ラーニング

● 研究概要

SDGs の市民政治に関する政治学研究

● 地域貢献

「持続可能な社会」を創るために、「参加」と「熟議」、「公正」および「多様性」と「寛容」を基本に、プログラムのプロデュースやワークショップのファシリテーターをお手伝いしてきました。



教養・基礎教育部門
准教授
新田 和宏
NITTA Kazuhiro

● 研究テーマ(活動内容)、主な地域貢献活動

- ①. SDGs の市民政治に関する政治学研究
- ②. SDGsをテーマにした「持続可能な社会論」
- ③. 里山の保全を担う「身体知」を育成するフィールドワーク「里山の環境学」
- ④. 「参加型学習」およびアクティブ・ラーニングの研修会
- ⑤. 「秀逸なインターンシップ」に関する研究およびコーディネート

● トピックス

2018年12月1日、近畿大学生物理工学部において、日本環境教育学会関西支部および関西環境教育学会の第2回合同研究大会を開催予定。テーマは、「SDGsを問い直すー環境教育の原点からー」。小生が大会実行委員長を務めさせて戴きます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



● 論文・特許等

【論文】

「ワークショップという熟議民主主義」「市民社会を強化するガバナンスとパブリック・マネジメントおよびデモクラシー」「NGO・NPOにおけるアカウンタビリティ/アドボカシーという戦略」「グローバリゼーションと新自由主義」「『新しい政治』とアイデアの政治」「新しい政治学と環境政治学」「『新しい貧困』の政治学」「ポスト新自由主義レジームの政治」「『松下政治学』と新しい政治」「政権交代と『新しい政治』の政治的意義」「『高島政治学』における市民政治の再発見」「東日本大震災における『新しい政治』」「東日本大震災がESDに問いかけるもの」「四半世紀に及んだ政治改革および政治主導の帰結とその展望」「ガバナンスを制御する国家ガバナンスの統治技法とその権力性」等

※上記の論文は『近畿大学生物理工学部紀要』に掲載されています。検索してダウンロードできます。